

2025 年度後期

武蔵野学院大学大学院 武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

授業評価アンケートに関する報告書
(要約版)

2026 年 3 月

武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

IR 委員会

※本報告書はホームページ上(学外公開用)の要約版です。自由記述欄に関する文言・図表など、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では一部の内容を割愛しています。

目次

はじめに	3
2025 年度後期授業評価アンケート 結果概要.....	4
1. 2025 年度後期 授業評価アンケート実施概要.....	4
2. 回答者の内訳	5
3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果	5
4. 項目別評価	5
5. 自由記述でみられた特徴	7
6. おわりに	9
2026 年度以降の予定.....	9
(参考) 設問別回答構成	10

はじめに

本学では、自己点検・評価の一環として、「授業評価アンケート」を実施しています。このアンケートは、学生が授業への取り組みを振り返り、到達目標の達成度を自己評価することで、学修に関する課題を明確にし、学生の主体的な学修への意識を高めることを目的としています。さらに、学生の視点から教員の授業への取り組み方を可視化し、その結果を学生の自己評価と合わせて、継続的に授業改善に活かすこと、それらを踏まえてカリキュラムの組織的検証にも活用することを目指しています。

授業アンケートの実施に際し、IR 委員会では質問項目や実施時期等の検討を行っており、先生方や回答する学生に対してアンケート趣旨の徹底にも努めております。本学における授業アンケートはオンラインで実施されているにも関わらず、履修者総数 4,434 名に対し、総回答数は 2,457 件、回答率は 55.4%と高い回答率を維持しています。また、全授業科目(実習・実習指導科目を除く)に対して回答があった科目の割合＝回答科目率も約 99%と高い割合を維持しています。

今後は、各部局および教員が、これらのデータを活用し、さらなる教育改善に結びつけることを期待しています。

なお、集計結果については本報告書にまとめ、学内外に公表いたします。また、授業評価アンケートの集計結果・回答内容は、アンケート実施の趣旨・目的以外に使用してはならず、業務上の関連部署には守秘義務が課されます。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 IR 委員会委員長
野村 和

2025 年度後期授業評価アンケート 結果概要

【回答率の推移】

- ・大学：44.7%で横ばい傾向
- ・短期大学：80.6%（2024 年度前期以降上昇していたが低下）
- ・大学院：100%（上昇傾向）
- ・全体：55.4%（前年同時期より 10%程度低下）

【項目別の特徴】

- ・全体平均：4.39 ポイント（前年後期比-0.03）
- ・高評価項目：授業時間の遵守（4.73）
- ・低評価項目：予習復習時間（1.67）
- ・標準偏差が大きい項目（1.0 以上）：教材の有益性（Q7）、予習復習時間（Q12）
→科目特性（語学／講義／実技）による評価の差が大きい

【自由記述の傾向】

- ・良かった点：大学＝「グループワーク」や「教員の対応」など
短期大学＝「実践・実演」「教員の対応」など
- ・改善要望：大学＝「学習環境」「授業の構成」「教員の対応」など
短期大学＝「授業の進行」「評価基準」「授業の構成」など

【結果を受けて】

- ・学年による差は小さい一方、科目特性による違いが大きい可能性。
- ・教材や予習復習の項目では、回答のばらつきがみられた。
- ・全体回答率に対して、自由記述の回答数(授業の良い点・改善点の双方)の低下がみられた。
書き方や見本の提示などを検討する余地がある。
- ・教員自己点検・自己評価の回答、その後の授業改善の工夫などを受講生に共有し、循環的にアンケートを活用することを検討する。
- ・今後は、各授業の工夫や改善事例を FD 活動・授業設計に還元し、学生間の差を縮める取り組みが求められる。

1. 2025 年度後期 授業評価アンケート実施概要

- 1) 実施期間：全 9 回授業：2025 年 11 月 17 日（月）8:30～2026 年 1 月 23 日（金）19:00
全 15 回授業：2025 年 12 月 22 日（月）8:30～2026 年 1 月 23 日（金）19:00
- 2) 実施科目：2025 年度後期 開講科目（クラス別講義を含む。実習関連科目は除く）。
大学 137 科目、大学院 10 科目、短期大学 53 科目（うち 9 回授業 18 科目）
計 190 科目。
- 3) 実施方法：原則として、実施期間の該当科目授業時間に実施した。スマートフォン等から Web システム「Musashino Academic Station（以下；MAS）」を利用して回答。
- 4) 質問項目：選択式（5 件法）の設問 14 問および自由記述式の設問 2 問 計 16 問（表 1）。
- 5) 結果の提供：学生、教員ともに MAS から参照可能。

2. 回答者の内訳

今期の開講科目中、実習および実習指導に関する科目を除いた190科目で回答が実施された。該当科目の受講者総数（延べ人数）は4,434人（大学3,118人、大学院14人、短期大学1,302人）であった。回答者の総数（延べ人数）は2,457人（大学1,393人、大学院14人、短期大学1,050人）であった。

3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果

【全体回答率】

今期の授業評価アンケートの回答率について、大学44.7%、大学院100.0%、短期大学80.6%、全体では55.4%となった（数値は小数第2位を四捨五入）。昨年度後期との回答率の比較では、大学は回答率4.3%減、大学院は11.1%増、短期大学は16.5%増、全体では2.2%減となった。なお回答率は、各科目の算出結果(回答率)を単純に平均している。

回答率の推移について、現在の形式で開始した2023年度前期からの比較を図示した。大学ではおおむね横ばいで、50%前後で推移している。大学院は対象者が限定的であるものの、継続的に上昇し、直近では100%に到達している。短期大学は80%~90%程度の回答率を維持している。回答率については、必修科目の割合や授業での周知の機会の有無などが影響していることが考えられる。（図1）

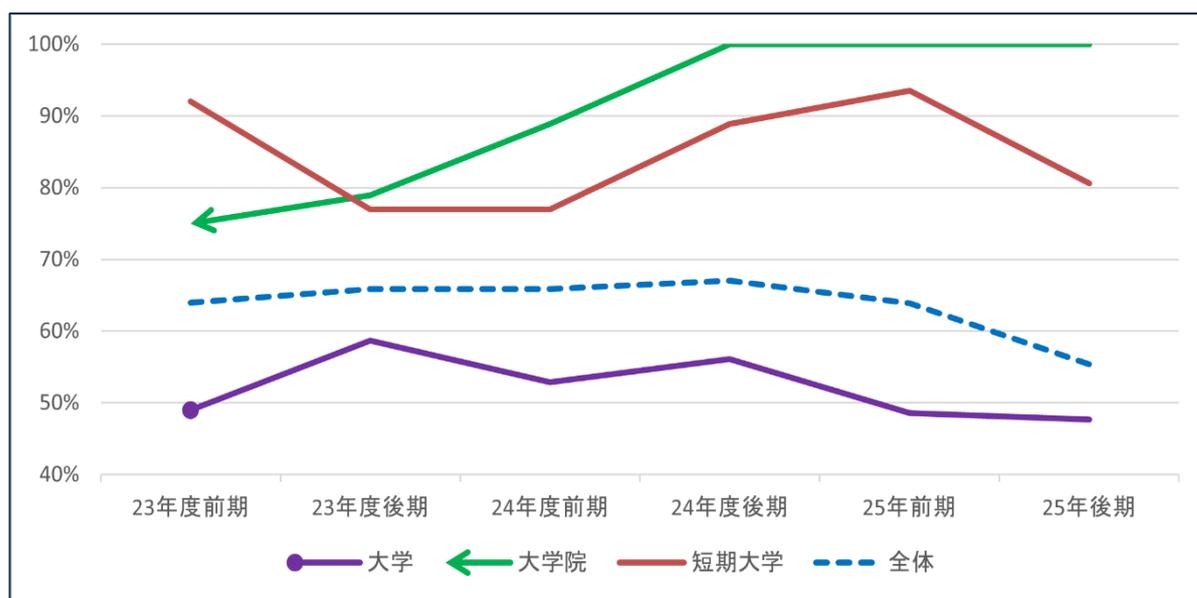


図1. 回答率の推移(2023年度以降のもの)

【その他回答率】

・学年別回答率：(大学) 1年66.5%、2年45.1%、3年32.2%、4年39.1%

(短期大学) 1年79.3%、2年83.1%

※大学院は分類が困難なため割愛

4. 項目別評価

今年度の授業評価アンケートでは設問数の削減、順序の整理、文言の調整を行い、選択式14問、自由記述2問の計16問の構成で回答を依頼した。表1に選択式の設問内容および結果を示した。(以下、数値は全て小数第3位を四捨五入)

1) 全体の平均・傾向

2025 年度後期の全回答平均は 4.39 ポイントで、2025 年度前期の平均 (4.42) より 0.03 ポイント減少した。

表 1. 授業評価アンケート 選択式設問および各年度の平均値

(選択肢: 「5: そう思う」「4: 大体そう思う」「3: どちらでもない」「2: あまりそう思わない」「1: そう思わない」、
例外の設問は枠内に記載) ※ () 内は標準偏差

設問	内 容	大学	大学院	短大	総計
1	この授業に対してのあなたの出席状況はどの程度となっていますか。 (5: 90%以上、4: 70~89%、3: 50~69%、2: 30~49%、1: 30%未満)	4.38 (0.83)	4.50 (1.05)	4.76 (0.48)	4.54 (0.73)
2	教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。	4.63 (0.68)	5.00 (0.00)	4.69 (0.65)	4.66 (0.67)
3	授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。	4.64 (0.65)	5.00 (0.00)	4.68 (0.62)	4.66 (0.64)
4	授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。	4.64 (0.69)	5.00 (0.00)	4.68 (0.66)	4.66 (0.68)
5	教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。	4.67 (0.67)	5.00 (0.00)	4.80 (0.53)	4.73 (0.62)
6	教員は効率的に教材(板書、スライド、動画、演習用教材など)を使用していましたか。	4.63 (0.71)	4.93 (0.26)	4.67 (0.69)	4.65 (0.70)
7	教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。 (0: 使用していない、を含めた 6 件法で評価)	4.40 (1.18)	5.00 (0.00)	4.56 (0.89)	4.47 (1.07)
8	教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。	4.65 (0.70)	4.93 (0.26)	4.66 (0.77)	4.66 (0.73)
9	教員は学生の質問や相談に対応していましたか。	4.62 (0.73)	5.00 (0.00)	4.65 (0.72)	4.64 (0.72)
10	教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。 (例: 難しい語句の説明など)	4.59 (0.76)	4.93 (0.26)	4.64 (0.74)	4.62 (0.75)
11	あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。	4.51 (0.78)	4.79 (0.56)	4.58 (0.73)	4.54 (0.76)
12	この授業について 1 週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習を しましたか。(予習・復習の内容は、各科目のシラバスに記載があります) (5: 4 時間以上、4: 3 時間以上 4 時間未満、3: 2 時間以上 3 時間未満、 2: 1 時間以上 2 時間未満、1: 0 分以上 1 時間未満)	1.81 (1.24)	3.00 (1.20)	1.48 (0.93)	1.67 (1.13)
13	あなたはこの授業の内容に満足しましたか。	4.48 (0.85)	4.93 (0.26)	4.57 (0.79)	4.52 (0.83)
14	これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。	4.40 (0.88)	5.00 (0.00)	4.52 (0.78)	4.46 (0.84)
-	全体平均	4.36 (0.81)	4.79 (0.27)	4.43 (0.71)	4.39 (0.78)

2) 今回の結果の特徴

今回の結果では、前期と同様に設問によって標準偏差が大きく、回答が分かれる傾向が見られた。標準偏差とは回答のばらつきを示す指標であり、0に近いほど回答が揃っていることを意味し、数値が大きいほど学生の評価が分かれていることを示す。5件法のアンケートでは、一般的に多くの設問で標準偏差は0.5~0.8程度に収まりやすい一方、1.0を超える場合は学生間で評価が割れていると考えられ、科目特性や学生層の違いが影響していると考えられる。

特に設問7「教材の有益性」、設問12「予習復習時間」では標準偏差が1を超えており、授業や学生の取り組みによって満足度や学習時間の差が現れていると考えられる。これらの設問について、学年別に大きな傾向の違いは確認されなかった。一方で、授業別に確認したところ、大学では設問7について、語学科目とそれ以外の講義系科目で評価のばらつきが見られた。短期大学では、特に予習復習の時間について、実技系科目とそれ以外の科目で評価のばらつきが見られた。(図2、3)

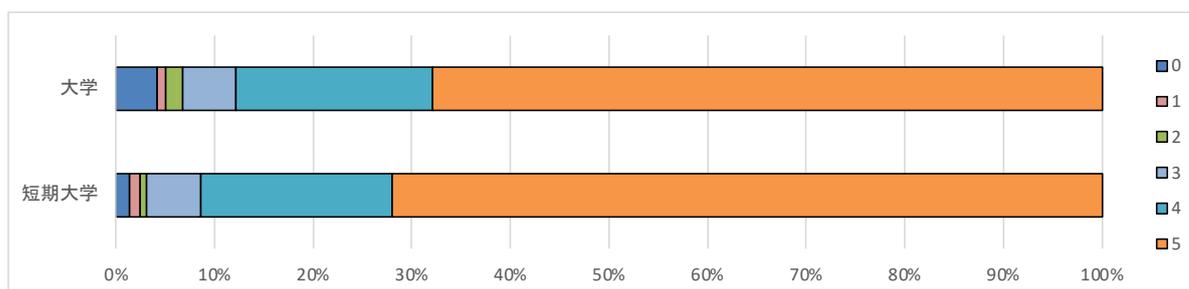


図2.設問7の回答構成(大学・短期大学のみ)

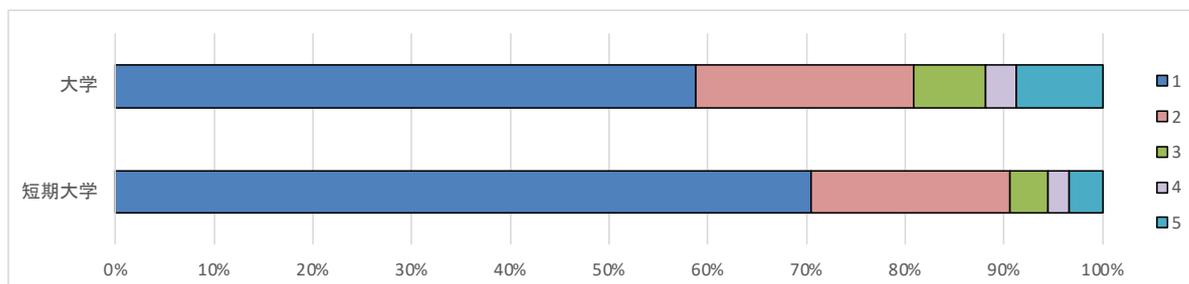


図3.設問12の回答構成(大学・短期大学のみ)

5. 自由記述でみられた特徴

自由記述については、「授業の良かった点」、「改善を希望する点」に関する2問を設置した。

※自由記述欄の内容については、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では傾向の記述に留め、詳細を割愛しております。

5-1. 設問15：この授業について、特に良かった点がありましたら、記入してください。

(例：授業中のグループワークが勉強になった、私語への対応が行われていた、など。)について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答(22件)を除くと、合計で179件の回答があった。例えば大学では、「グループワーク」や「教員の対応」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「実践・実演」、「グループワーク」、「個別支援」などに関するコメントが多い点が特徴として挙げられた。以下、機関ごとの結果を示す。なお、大学院(7件)は回答人数が限定されるため、大学に含めた。

【大学・大学院】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（22件）を除くと、135件の回答があった。

【短期大学】

上記設問について、44件の回答があった。「特になし」またはそれに類する回答はみられなかった。前期（177件）と比較すると回答数が減少した。短大では回答件数を踏まえてワードクラウドによる可視化図は用いず、代表的コメントにより結果を提示した。

表3では、具体的な取り組みを含む回答を抜粋した。なお大学と同様に、意味を損ねない程度に一部のコメントは文言を編集している。

短期大学の授業の「良かった点」について、主に「実践・体験に関すること」、「グループワークでの関わり」、「個別性」に関するコメントが多く見られた。

5-2. 設問16「この授業に改善してほしい（ほしかった）と感じる点がありましたら、記入してください」（例：授業が進むのが速かった（遅かった）、スライドの文字が小さかった、など）について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（51件）を除くと、合計で110件の回答があった。大学では、「学習環境（スライドの表示）」や「授業の構成（時間配分など）」、「教員の対応」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「授業の進行・評価」、「授業の構成（出席管理、資料など）」に関するコメントが多い点が特徴として挙げられた。なお大学院は0件だった。以下、機関ごとの結果を示す。

【大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（47件）を除くと、77件の回答があった。

【短期大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答（4件）を除くと、33件の回答があった。

表5では、要望を含む回答を抜粋して分類した。なお、意味を損ねない程度に一部文言を編集している。要望が多かった主な項目として「授業の進行・評価」、「授業の構成（出席管理、資料など）」などが挙げられた。

5-3. 設問17 授業評価アンケート結果を踏まえた教員の振り返り

授業評価アンケート結果を踏まえた教員自己点検について、MAS上で回答する形式で実施した。得られた回答について、適宜参考になる意見を収集し、授業改善や授業見学などの参考にさせていただくことを目的とし、別表に一覧として掲載した。主に授業内容全般の見直し、グループワークの進め方、進度の調整、資料の工夫や配信、私語など学生への対応、予習復習などについての現状や今後の検討事項について回答された。昨年度の結果を踏まえ、具体的に工夫したことについて言及されている回答も増加した。また、学生の要望に応えられない場合はその理由についての説明がなされるなど、振り返りと見直しに繋がる回答がみられた。各授業担当者の

回答については、後日受講学生を対象に公開する予定である。

※各教員の振り返りについては、各科目の受講学生および授業担当者を対象に配信しました。そのため、本報告書では詳細を割愛しています。

6. おわりに

特に自由記述の結果については、回答件数が少ない場合、回答が熱心な学生や不満の強い学生に偏る傾向があることも考慮する必要がある。より幅広い学生の声を収集するために、アンケート実施時に「授業改善に役立つための設問である」と位置づけを明確に示すことを継続し、具体的な観点を例示するなど、回答しやすくする工夫が求められる。自由記述の趣旨や書き方を説明することで、学生の記述がより多様で具体的なものになることが期待される。

2023年度から本報告書の形式にて結果を共有してきた。今後は、これまでの内容を取り入れつつ、より詳細な解析を行ったり、教員の授業における具体的な取り組みや実践例を収集・共有したりすることで、学生の学びや授業改善にさらに結びつけていくことを目指したい。

2026年度以降の予定

・2026年度後期授業評価アンケート：前期と同様、全9回授業と全15回授業の終了時期に応じて実施予定。

・授業評価アンケート→教員の振り返り（具体的な改善・工夫などを含む）→授業改善の効果についての点検（PDCAサイクルとして運用）。

・分析すべき項目や実施科目などを検討、構成の見直し。

（例：学生の出席回数と理解度や満足度の相関、授業への期待度と授業で何を得たか）

・実施科目の見直し（大学・短大ともに実習に関する科目を除外）。

ご意見・お問い合わせ先

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 ディスクロージャー

（連絡先割愛）

(参考) 設問別回答構成

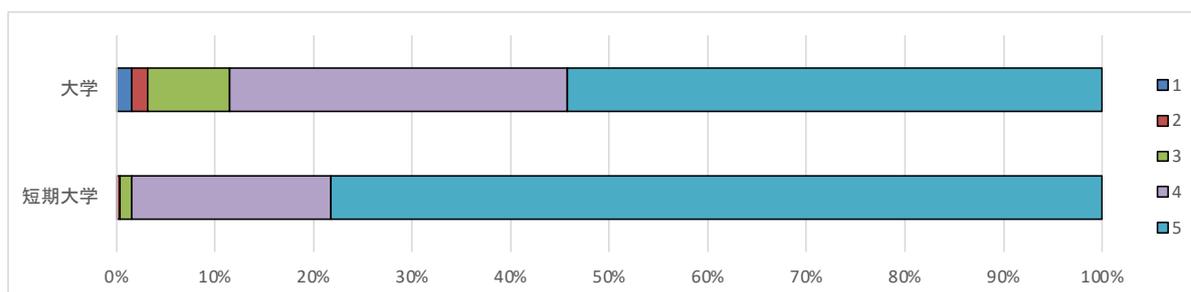
(選択肢：「1:そう思わない」「2:あまりそう思わない」「3:どちらでもない」「4:大体そう思う」「5:そう思う」、例外の設問は別途記載)

※受講人数の都合から、大学・短期大学の結果のみ掲載しています。

設問 1. この授業についてあなたの出席状況はどの程度でしたか。

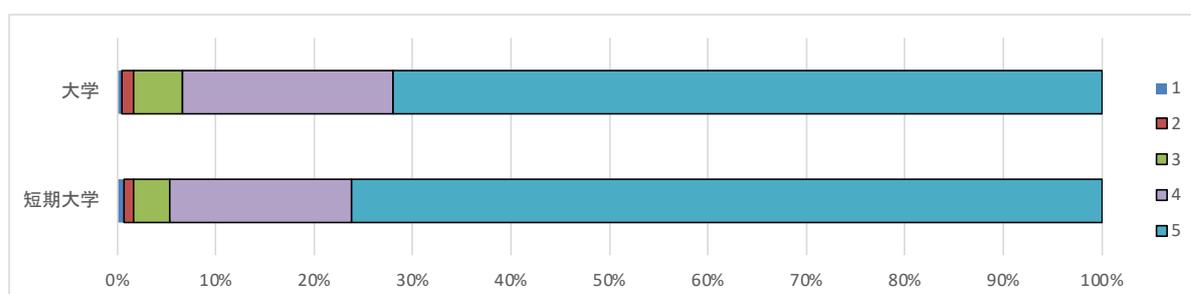
(選択肢：5：90%以上、4：70～89%、3：50～69%、2：30～49%、1：30%未満)

	1	2	3	4	5	総計
大学	22	22	116	477	756	1393
短期大学	0	4	12	213	821	1050
総計	22	26	128	690	1577	2443



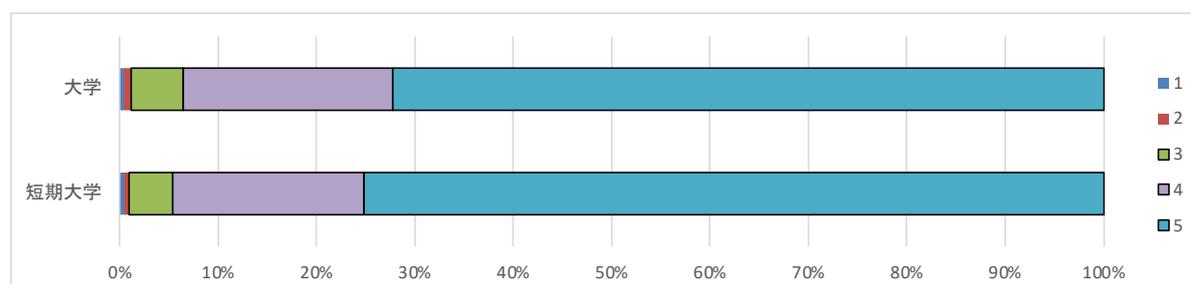
設問 2. 教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	6	17	69	298	1003	1393
短期大学	7	10	39	194	800	1050
総計	13	27	108	492	1803	2443



設問 3. 授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。

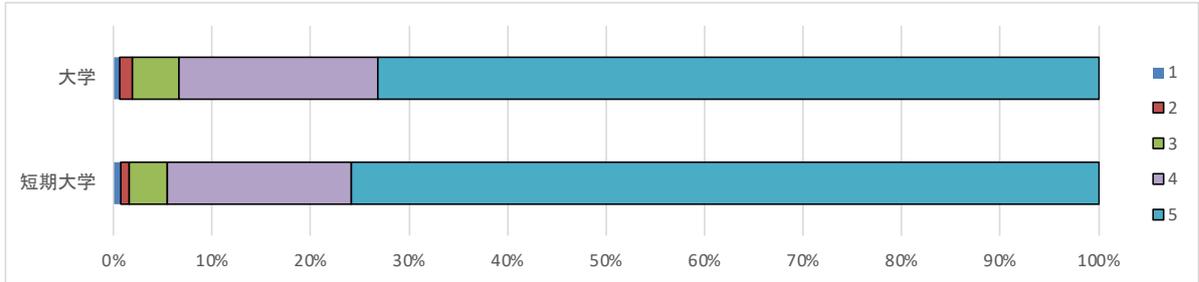
	1	2	3	4	5	総計
短期大学	4	6	46	205	789	1050
大学	5	11	74	296	1007	1393



総計	9	17	120	501	1796	2443
----	---	----	-----	-----	------	------

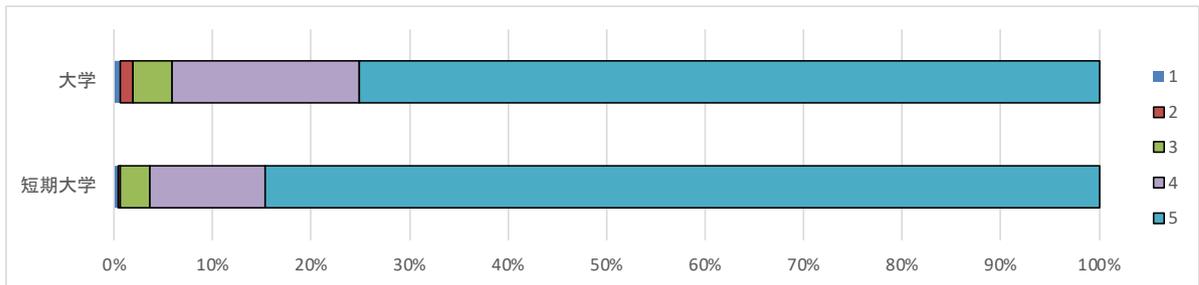
設問 4. 授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	9	18	65	282	1019	1393
短期大学	8	9	40	197	796	1050
総計	17	27	105	479	1815	2443



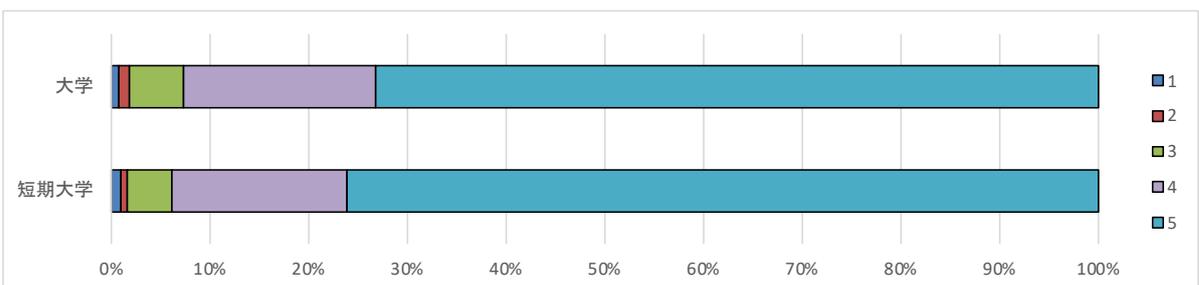
設問 5. 教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	9	17	56	264	1047	1393
短期大学	4	3	31	123	889	1050
総計	13	20	87	387	1936	2443



設問 6. 教員は効率的に教材（板書、スライド、動画、演習用教材など）を使用していましたか。

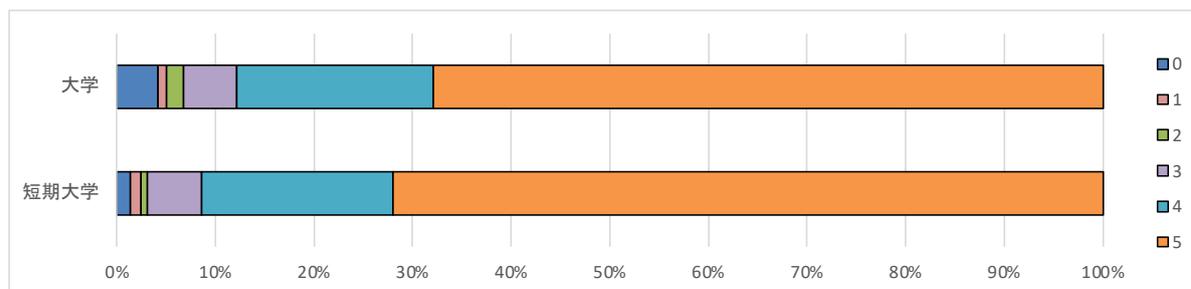
	1	2	3	4	5	総計
大学	11	15	76	272	1019	1393
短期大学	11	6	48	186	799	1050
総計	22	21	124	458	1818	2443



設問 7. 教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。

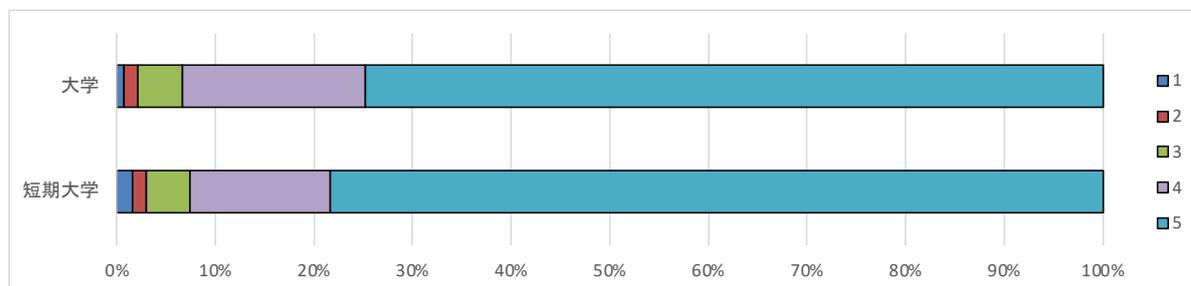
(選択肢:「0:使用していない」「1:そう思わない」「2:あまりそう思わない」「3:どちらでもない」「4:大体そう思う」「5:そう思う」)

	0	1	2	3	4	5	総計
大学	59	12	23	75	278	946	1393
短期大学	14	12	7	57	204	756	1050
総計	73	24	30	132	482	1702	2443



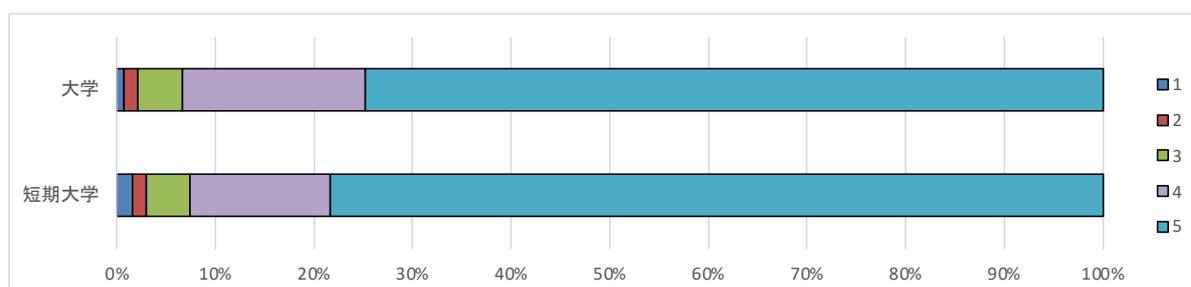
設問 8. 教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	10	20	63	258	1042	1393
短期大学	17	15	46	149	823	1050
総計	27	35	109	407	1865	2443



設問 9. 教員は学生の質問や相談に対応していましたか。

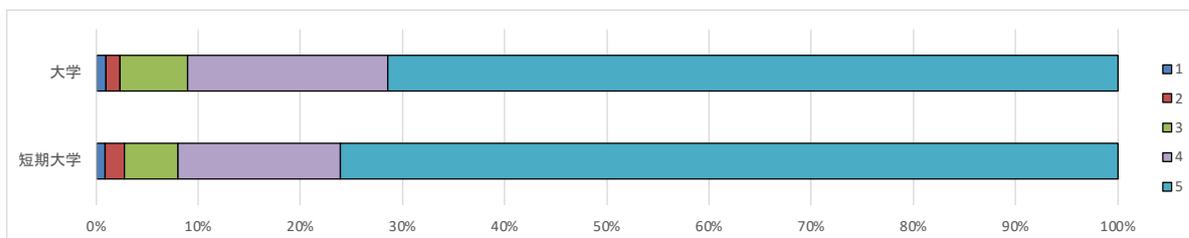
	1	2	3	4	5	総計
大学	15	13	78	270	1017	1393
短期大学	10	11	62	167	800	1050
総計	25	24	140	437	1817	2443



設問 10. 教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。

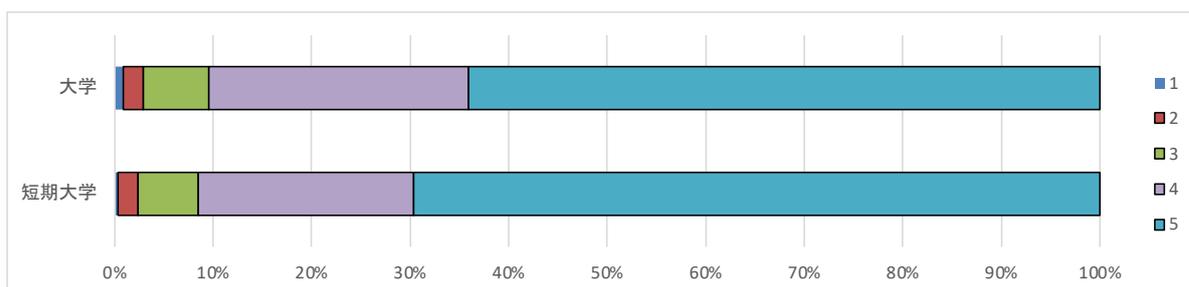
(例：難しい語句の説明など)

	1	2	3	4	5	総計
大学	13	20	92	273	995	1393
短期大学	9	20	55	167	799	1050
総計	22	40	147	440	1794	2443



設問 11. あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。

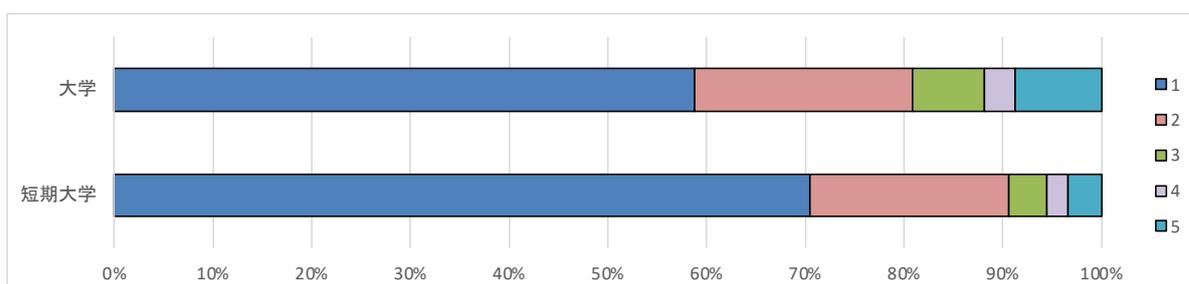
	1	2	3	4	5	総計
大学	13	28	93	367	892	1393
短期大学	4	21	64	230	731	1050
総計	17	49	157	597	1623	2443



設問 12. この授業について1週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習をしましたか。

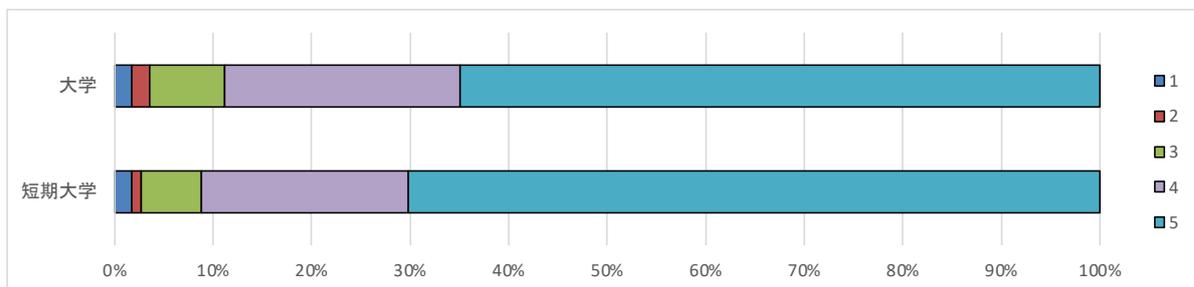
(選択肢：「1：0分以上1時間未満」「2：1時間以上2時間未満」「3：2時間以上3時間未満」「4：3時間以上4時間未満」「5：4時間以上」)

	1	2	3	4	5	総計
大学	819	308	101	43	122	1393
短期大学	740	211	41	23	35	1050
総計	1559	519	142	66	157	2443



設問 13. あなたはこの授業の内容に満足しましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	24	26	105	334	904	1393
短期大学	18	10	65	220	737	1050
総計	42	36	170	554	1641	2443



設問 14. これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	28	33	110	399	823	1393
短期大学	12	11	85	254	688	1050
総計	40	44	195	653	1511	2443

